

蹴上発電所旧本館、^{えびすがわ}夷川発電所と^{すみぞめ}墨染発電所（旧伏見発電所）本館
国の重要文化財の指定へ

2025年5月16日
関西電力株式会社

本日、国の文化審議会において、蹴上発電所^{*}旧本館と夷川発電所本館、墨染発電所（旧伏見発電所）本館が、文化財保護法に基づく重要文化財として登録することが妥当との答申が出されました。

今後、官報告示を経て、正式に重要文化財となる見込みです。

蹴上発電所、夷川発電所および墨染発電所は、琵琶湖から京都へ水を導く「琵琶湖疏水」を利用した水路式の水力発電所で、1891年から順次、運転を開始し、100年以上経った今なお、現役の発電所として稼働しています。

今回の指定にあたっては、琵琶湖疏水に関連する施設のうち、歴史的に高い価値を有する点が評価されました。

当社は、今後も、蹴上発電所等の保守・保全に努め、電力の安全・安定供給を通じて、地域の発展に貢献してまいります。

※蹴上発電所は、日本初の事業用水力発電所で、2016年には世界的な電気・電子技術の専門家組織であるIEEEから権威ある「IEEEマイルストーン」に認定

以 上

添付資料：蹴上発電所、夷川発電所、墨染発電所の概要
蹴上発電所 見学会のご案内

蹴上発電所、夷川発電所、墨染発電所の概要**【蹴上発電所】**

所在地	京都市左京区栗田口鳥居町1番地
水系・河川名	淀川水系・琵琶湖疏水
運転開始年月	1891年5月
発電方式	水路式
最大出力	4,500kW
最大使用水量	16.7m ³ /s
有効落差	33.74m
重要文化財指定設備	発電所旧本館（レンガ造り）

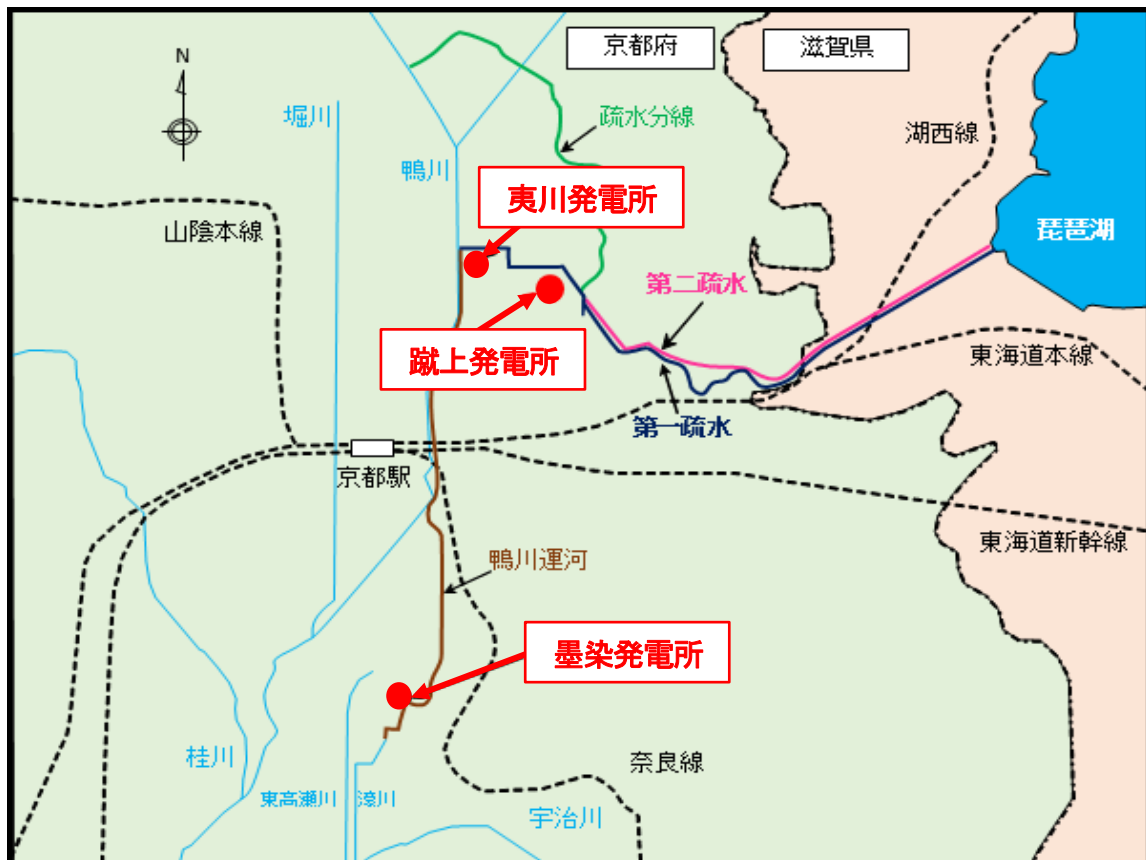
【夷川発電所】

所在地	京都市左京区聖護院蓮華蔵町33-3
水系・河川名	淀川水系・琵琶湖疏水
運転開始年月	1914年4月
発電方式	水路式
最大出力	300kW
最大使用水量	13.91m ³ /s
有効落差	3.42m
重要文化財指定設備	発電所本館（レンガ造り）

【墨染発電所】

所在地	京都市伏見区桃山町丹下14-11
水系・河川名	淀川水系・琵琶湖疏水
運転開始年月	1914年5月
発電方式	水路式
最大出力	2,200kW
最大使用水量	12.71m ³ /s
有効落差	14.31m
重要文化財指定設備	発電所本館（鉄筋コンクリート造り）

<位置図>



・ 蹴上発電所（旧本館）



・ 夷川発電所（本館）



・ 墨染発電所（本館）



蹴上発電所見学のご案内

蹴上発電所につきましては、毎週金曜日に施設見学会を実施しています。普段は立ち入ることができない発電所構内から、重要文化財に指定される旧本館に加えて、現役の発電機や水圧鉄管などを見学いただけますので、ぜひご参加ください。

開催日	毎週金曜日（祝日、年末年始、5月1日を除く）
開始時間	10時～、13時～（所要時間：約1時間）
定員	20名／回
費用	無料
申込み方法	当社ホームページ「蹴上発電所見学会のご案内」から申込みをお願いします。 <リンク> https://www.kepcoco.jp/energy_supply/energy/newenergy/water/plant/tour_keage/index.html